

Information2

寒い日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか？
ワンちゃん、ねこちゃんもお腹を崩す子が増えています・・・
今回は“下痢”についてのお話です。

“消化器の正常な機能が損なわれると下痢になります。”

消化管の主な機能は、その名の通り、
食物を消化し、身体に必要な栄養分を吸収することです。

●消化

消化酵素で食物を身体が吸収できる形に分解してくれます。

～消化酵素の種類～

胃液(ペプシン)

唾液(アミラーゼ、リパーゼ)

膵液(トリプシン、リパーゼなど)

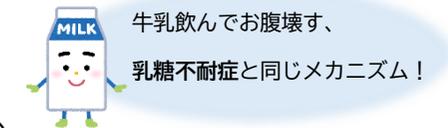
これらの消化液によってざっくりと栄養素が分解されます。

●吸収

消化管のうち、**栄養素**は主に小腸で、**水分**は主に大腸で吸収されます。



～下痢を起こすメカニズム～ 大きく4つに分かれています。

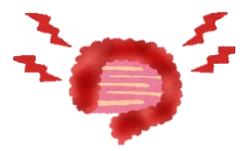


1 浸透圧性下痢

腸内に吸収されない、しきれない物質があると、
腸内に残っている物質の浸透圧によって水分が引っ張りこまれます。
この水分が多すぎることで腸の内容物が水っぽくなることによる下痢です。

2 腸粘膜の透過性変化による下痢

腸炎や寄生虫、腫瘍などで腸粘膜が荒れてしまい、
そこから血液、体液が漏れてしまうことによる下痢です。



3 分泌性下痢

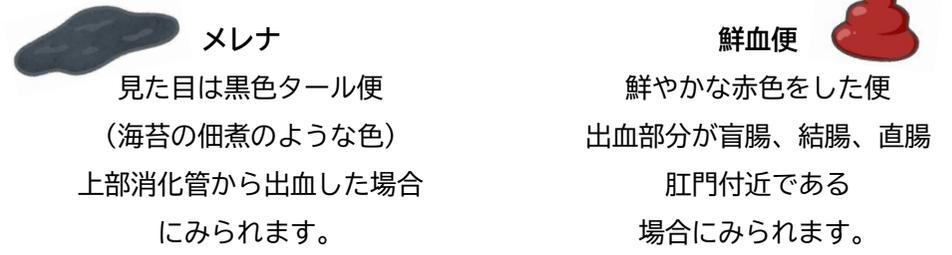
もともと腸が行っている腸液の分泌が過剰になってしまうことによる下痢です。
原因に多いのが腸の感染症です。



4 腸の運動異常による下痢

腸の運動異常を起こす病態には、腸の炎症性疾患（リンパ球形質細胞性腸炎）
猫の甲状腺機能亢進症、腸内での細菌過剰増殖などが含まれます。

～便に血が混ざる状況～



メレナを放置すると最悪の場合、命を落とすことも・・・
便検査で何か分かることもあります。

日頃のうんちをよく観察して変化に気づけると良いですね！

